

# 邑南町スポーツによるまちづくり方針（案）に対する 意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

## 1. 募集期間

令和7年10月20日(月)から11月6日(木)まで

## 2. 意見提出者数

5名

## 3. 提出されたご意見と町の考え方

(※原文のまま掲載しています。)

番号	区分	該当箇所	ご意見等	対応
1	町内に住所を有する者	P.2～4	①重点施策について、見直しの目安となる期間を設定(明記)してはどうかと思います。 その方が活動としてもメリハリも出てくるし、計画的に進めていけるのではないのでしょうか。 継続する・新たな施策への移行等もスムーズにいくと思います。	継続する施策・新たな施策への移行等を検討するために、方針としての期間を設定します。その期間は重点施策である島根かみあり国スポ全スポの開催時期を鑑み、5年としたいと考えています。 なお、この間においても社会情勢の変化はあるものとして、毎年度進捗や効果の確認を行いながら、適宜見直していきます。
2	町内に住所を有する者	P.1 理念	邑南町は共生社会の理念を揚げながら障がいのある方との共同に関する記述がない。共生社会に関する理念を記述するべきと考える。	全ての町民を対象とした理念としております。今後も様々な事業等展開される中で、共生社会を意識して取り組んでまいります。
3	町内に住所を有する者	P.2 重点施策	島根かみあり国スポ全スポの取り組みについて、運営側に主体を置くのではなく、参加する選手に対する支援も必要である。	(2) 島根かみあり国スポ全スポ2030」には、参加する選手についても「①スポーツを通じて人と地域をつくる大会」の中に広く含まれているものと考えています。「する」「みる」「ささえる」と色々な関わり方を表

				現していますので具体的な記載をしてません。なお、島根県が主体となりトップアスリート発掘支援事業を現在実施しており、邑南町でも周知に努めています。
4	町内に住所を有する者	P.2 生涯スポーツ	例に挙げられている競技以外に陸上、水泳、ソフトテニス、サッカー、バドミントンと様々なスポーツ活動をしている団体がある。表現や記載方法に工夫が必要ではないか。	例でありますので、町内の子どもから大人、学校体育など広く競技されているものの中からイメージが付きやすい競技を掲げています。
5	町内に住所を有する者	P.3 国スポ全スポの運営	大会運営には多くの町民や町外の人助けが必要になる。町民総参加で大会を運営するという記述を入れたらどうか。	大会3年前には実行委員会を立ち上げる予定です。その中で、町民の皆様にもご協力いただけるよう計画を策定していきます。
6	町内に住所を有する者	P.3-4 部活動改革	出生数の減少による子供施策の持続性に課題がある。町内の年間出生数は30名程度である。スポーツと文化活動とのバランスが取れなくなったり、特定の限定された競技への偏りが起こらないように、近隣市町との連携も必要ではないか。	子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続して親しむための持続可能な環境をどのように整えていくか、近隣市町とも連携をはかりながら検討をしてまいります。
7	町内に住所を有する者	P.4 羽須美地域伝統スポーツの里づくり構想	<p>「羽須美地域の伝統スポーツを活かし、青少年の健全育成、交流人口の拡大といった地域振興を推進する」という本方針案には、大いに期待し賛同いたします。</p> <p>その中で、水泳は長年地域に根付いた「羽須美の伝統スポーツ」であり、地域の誇り・人材・環境を兼ね備えた極めて貴重な資源です。以下の点について、ぜひご検討をお願い申し上げます。</p> <p>(1) 羽須美地域のプールを、町全体の水泳教育・生涯スポーツの拠点として明確に位置づけること。</p> <p>(2) プール維持管理にかかる教職員・地域・保護者の負担を軽減するため、専</p>	<p>羽須美地域伝統スポーツの里づくり構想の策定は、本方針の理念をもとに策定されていくものと考えています。</p> <p>人口減少時代のスポーツによる地域づくりのモデルとして羽須美地域の地域振興を推進していけるよう、構想策定委員会で、いただいたご意見を参考に、構想策定に取り組んでまいります。</p>

			<p>門団体・地域住民・民間企業等との連携体制を早期に構築すること。</p> <p>(3) 屋内プールの恒久的整備を必須とし、早期に実施を明確にすること。(屋内プールの利点は冬季にも使用可能、天候に左右されないなど学校水泳にも有利)</p> <p>(4) 幼児・小学生段階における「水泳を通じた基礎体力育成プログラム」を再構築・定着化させること。</p> <p>現在、はすみスイミングスクールでは幼児・小中学生が日々練習に取り組んでおり、専門指導者も地域内に存在しています。こうした「人材・環境・歴史」が揃った地域は町内でも極めて希少です。</p> <p>ぜひ、羽須美地域の水泳文化を軸としたスポーツによるまちづくりを、具体的に構想・実施していただきたく、強く要望いたします。</p>	
8	町内に住所を有する者	P.4 推進体制	<p>方針決定後は、早期の推進体制の整備とあわせて、重点施策の推進状況の検証する必要がある。特定の施策に重きをおき、他の施策の進捗状況との差が出ないように注視する必要がある。</p>	<p>方針・重点施策の進捗状況等、定期的に把握し、評価に基づき必要な改善策を講じていける体制をつくり、本方針の具現化に努めてまいります。</p>
9	町内に住所を有する者	P.3-4 部活動改革	<p>出来るだけ早く中学校を1校にし 沢山の人数で出来る部活動にして 多くの生徒と競い合ってほしい。指導者が少なくても、生徒同士でレベルUP出来る。10人よりも100人の方が絶対レベルアップする。まずは学校統合が先だと思えます。地域の指導者も少なくすむ。スクールバスも活用して送迎すれば空バスも無くなる。</p>	<p>いただいたご意見も参考に、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続して親しむための環境をどのように整えていくか、検討してまいります。</p>
10	町内に住所を有する者	P.4 推進体制	<p>4. 推進体制には、団体・協会・学校などが連携しスポーツによるまちづくりを推進するとある。</p> <p>○地域マネージャー制度が利用できないか。</p> <p>・要件が原則公民館単位となっているが、これを町全体として適用すれば(組</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見を今後の推進体制や施策の参考とさせていただきます。</p>

			<p>織を立ち上げ規約を作り総会で承認する) 各団体等が一体となって推進する先導的な役割を担わせることができないかと思います。町一本で会議・意思疎通をした方が意思統一と効率性が良いと思う。</p> <p>・●●地区は、町職員が会計・事務局であり、子育て世代の者も地域(自治会・体協等各諸団体・農業補助金関係等)の役職を複数兼務し、自治会長並みに各種会合に出席する者もいる。今回新たに始まる「スポーツ町づくり(案)」は、今後の実施段階を含めて地域の役職の上に重複するので、役場職員が地域の事にも参加しやすくなるよう、負担軽減を考慮してほしい。</p> <p>・団体・協会・学校等が連携という文言が体制の中に特定されていて、今回の説明会に招集された人が実施段階で「スポーツによる町づくり」を担うと、されたように見える。この方法は既存の常識なのか。オブザーバー参加として意見を検討するのみなら不可能とはいき辛いですが、実務者として会計・事務局を文言にある団体等が担うことは困難と思う。</p>	
11	町内に住所を有する者	P.2-4 3. 重点事項	<p>これらを実際する際の財源などについて ○重点項目の実施に係る補助・交付金が、町の収入に寄与するもの(交付金算定基礎)と考えてよいのでしょうか。</p> <p>・「スポ協収入」と同様の上部団体から割り振りだけの予算の場合は、手弁当のボランティアで地域がどこまで協力可能か見えない。また、下請けに出す場合は下に丸投げず、会計・事務手続きなどは町一本のところで処理して頂けないと下請けはきついと思う。</p> <p>(1) 生涯スポーツ、(2) 国スポ、(3) 部活動等が、町主体での推進へのオブザーバー的参加なら可能と思う。しかし会計・事務処理を自治会(地域コミュニティ)等で処理することは困難と思う。</p> <p>(4) 羽須美地域から求められているもの</p>	<p>今回策定を目指している方針は、スポーツによって希薄化しつつある地域コミュニティの活性化につなげ、持続可能なまちづくりを目指すという理念としての方針です。重点施策の実施段階になれば、必要な財源が発生してくることが考えられます。活用できる事業がないか調査研究し、財源の確保に努めてまいります。</p>

			と想像し、一部の思いではなく、羽須美全体で理解が得られれば、夢もありよいと考える。○各重点事項の担当課を明確にして実施してほしい。（生涯スポーツなら「保健課」、国スポなら「総務課」等。どの課にも属す・属さないなら「地域みらい課」)	
12	町内に住所を有する者	全体	<p>2 基本理念には賛成したい。</p> <p>「今後の交付金（算定基礎）・補助・助成の見込み」があつてのこの方針と思います。</p> <p>○地域の人材に余力がないので、昔のように事業を割り振っても、地域が動くかは不明と考えます。その中で羽須美地域は、意思表示があるので期待しております。</p> <p>○学生に発想を借りること等は良いと思います。部活動に限らず、他の重点事項がうまく進まない時には相談するのも良いと思います。</p>	<p>重点施策の実施段階になれば、必要な財源が発生してくることが考えられます。活用できる事業がないか調査研究し、財源の確保に努めてまいります。</p> <p>また、いただいたご意見も参考に検討をしてまいります。</p>